

第3学年1組 国語科学習指導案

令和8年1月27日(火)
5校時(13:15~14:00)
荒川区立峡田小学校
第3学年1組 32名

研究主題 自分のよさや可能性に気付く子の育成

～受容的、肯定的な対話と友達との関わりを通して～

- 1 単元名 登場人物について考えたことを伝え合おう
教材名 「モチモチの木」(光村図書3年)

2 単元の目標

- ◎文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことができる。(思C(1)カ)
○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。(知(1)オ)
○登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。(思C(1)エ)

3 指導観

(1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領(平成29年告示)国語編 第3学年及び第4学年に記載されていることを扱っている。

[知識及び技能]

- (1)オ 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。

[思考力、判断力、表現力等] C

- (1)カ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことができる。
(1)エ 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。

本単元で身に付けさせたい力は、「作品を読んで考えたことを伝え合い、自分の考えを広げていく力」である。児童が作品を読んで抱いた疑問や気付きを起点として学習課題を設定し、学級全体で共有しながら学びを深めていくことを大切にする。単元の初めに、児童一人一人が疑問点や話し合いたいこと、作品の特徴、物語の感想などをもとに初発の思いを表現し、互いの考えを話し合い、自分たちで取り組むべき課題を見いだしていく。共通して現れる疑問や注目点を手掛かりに、登場人物の心情の変化や情景描写、題名にもなっている「モチモチの木」の意味などに焦点を当てた課題を設定し、その解決に向けて読み深めたことを交流する学習を進めることで、主体的・協働的に学ぶ姿勢を育てる単元としたい。

(2) 児童観

児童は、これまでの学習で場面の移り変わりや展開に注意しながら読む力を付けてきた。また、2学期に行った「ちいちゃんのかげおくり」では、各自の初発の感想から学習課題を設定する経験を積んできた。その力を生かして、一人ひとりが興味をもった観点で読み深めるとともに、交流することを通して、同じ作品を読んでも感じ方が違うことや、伝え合うことで自分の考えを広げられることを実感させたい。(中略)

このような実態を踏まえ、個人の感想をあらかじめ可視化したワークシートを活用したり、課題を短冊に書いたりすることで、言葉による発信の手助けにしたい。受容的な聴き合いという学級の強みを基盤とし、「友達と意見が違うからこそ、面白い問いが生まれる」という価値観を共有することで、一人ひとりが学習課題づくりに参画できるようにしていきたい。

(3) 教材観

「モチモチの木」は、登場人物の心情と情景描写が密接に結び付いた教材であり、心情の変化を読み取る学習に適している。夜の描写は「豆太」の不安を、「モチモチの木」が光る描写は勇気の高まりを象徴し、文章表現が心情理解の手がかりとなる。また、「じさま」との関係を通して「誰かのために行動する勇気」という価値にも触れられる。さらに、並行読書を取り入れることで、他作品との比較から心情の変化や表現の工夫に気付くことができ、読みの視野が広がる。複数の物語を行き来しながら読む経験は、本教材の理解を助け、児童の多面的な読みを促す。自分のできることをひたすら行い、その瞬間を懸命に生きる主人公の姿を重ねて考えることにもつながる。

4 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。(C1)オ)	・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。(C1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。(C1)カ)	・積極的に文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。

5 本単元とキャリア教育で育みたい力

◎**自**自分で考え、気付く力……………意欲的に考え、課題や解決策、自分のよさに気付くことができる。
(課題対応能力)

◎**友**友達等と関わり、学び合う力…友達との対話や活動を通して自分の考えを深めることができる。
(人間関係形成・社会形成能力)

本単元では、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることを通して、文学的な文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、学習課題を設定する。(課題対応能力)

児童が考えた学習課題について、叙述を基に自分の考えをもち読み深めていく。まとめた考えを伝え合う学習では、単元の学びを振り返ると共に、並行読書を通して、多面的な読みを深めていく。読み深めたことを友達等と交流し、学び合うことで更に自分の考えを深めることができる。

(人間関係形成・社会形成能力)

6 目標にせまるための手だて

手だて① 児童の感想をもとにした学習課題の設定

○単元の初めに、児童一人一人が【①疑問に思ったことや友達と話し合いたいこと】、【②作品の特徴】、【③物語の感想】という視点で初発の感想を書く。その後、互いの感想を読み合いながら、学級で話し合いたい課題を選定していく。共通している疑問や言葉に注目させ、登場人物の気持ちの変化や情景、題名に着目した課題を設定できるようにしていく。自分たちで課題を設定することで、見通しをもって学習し、主体的な学びを引き出せるようにする。

（自分で考え、学び合う力）（友達等と関わり、学び合う力）

手だて② グループで話し合う活動

○グループで話し合いをすることで、全員が話す機会を確保する。また、客観的な視点が生まれることで、新しい意見に出会い、自分の考えを深めることができるようにする。

（友達等と関わり、学び合う力）

手だて③ 学校図書館活用による並行読書（第2時～11時）

○斎藤隆介さんの本での並行読書を取り入れることで、同じ作者の他作品との比較から、「勇気」や「優しさ」などのつながりや民話の言葉がもつ温かみなどを感じ、児童の多面的な読みを促せるようにする。（自分で考え、気付く力）

7 単元計画（全12時間・本時3／12時間目）

次	時間	○学習内容	○指導上の留意点☆評価 ★見いだせる「キャリア教育で育みたい力」
第1次	1. 2. 3 【本時】	○教科書P121を見て、物語の内容を想像する。 ○教師の範読を聞き、初発の感想を書く。 ○互いの感想を読み合いながら学習課題を設定し、学習計画を立てる。	○範読を聞く前に、題名やリード文、イラストからどのような物語なのか、「豆太」がどんな人物なのかを想像させる。 ○【①疑問に思ったこと】【②作品の特徴】【③物語の感想】の視点で感想を書くように伝える。 ☆文章の内容を捉えて、すすんで感想を書こうとしている。[発言・記述]（主体的に学習に取り組む態度） ☆課題づくりの観点をもとにして、友達と協力しながら学習課題を考えることができる。[発言・観察]（思考・判断・表現） ★友達等と関わり、学び合う力 ★将来を見通す力
第2次 第2次	4. 5	○物語の設定を確かめるとともに、登場人物の会話や行動を確かめる。	○「豆太」や「じさま」行動、 ☆様子や行動、気持ちや性格を表す語句や量を増やし、語彙を豊かにしている。[記述]（知識・技能） ★自分で考え、気付く力
	6	○学習課題① 「なぜ、豆太はモチモチの木に灯がついているのを見ることができたのか。」について考える。	○叙述をもとに自分の考えをもつように声をかける。 ☆様子や行動、気持ちや性格を表す語句や量を増やし、語彙を豊かにしている。[記述]（知識・技能） ☆「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。
	7	○学習課題② 「豆太は臆病なのか、勇気があるのか」について考える。	[記述・発言]（思考・判断・表現） ☆考えたことを積極的に伝え合おうとしている。 [発言・観察]（主体的に学習に取り組む態度）
	8	○学習課題③ 「物語の初めと終わりで豆太が変わったか」について考える。	★自分で考え、気付く力 ★友達等と関わり、学び合う力
	9	○読み深めたことを伝え合う。	
	10	○自分と比べて考えたことなどをまとめる。	○どうしてそのように考えたのか、物語との関連についても書くように伝える。

			☆「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。 [記述・発言] (思考・判断・表現) ★活動を振り返る力
第3次	11・12	○まとめた考えを伝え合う。 ○並行読書をした物語について、考えたことなどをまとめる。 ○考えを伝え合う。 ○学習を振り返る。	○教科書 P135 下段「つたえ合いのれい」を参考にさせる。 ○斎藤隆介の並行読書リストに書き溜めた感想メモをもとにして、気持ちや情景に注目させながら、まとめるようにさせる。 ☆「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。[発言・観察] (思考・判断・表現) ☆積極的に文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、学習活動に沿って考えたことを伝え合おうとしている。 [発言・観察] (主体的に学習に取り組む態度)

8 本時の活動 (3/12 時間)

(1) 本時のねらい

登場人物の気持ちの変化や情景について、具体的に想像して物語を読み深めるための学習課題を友達と協力しながら考えることができる。

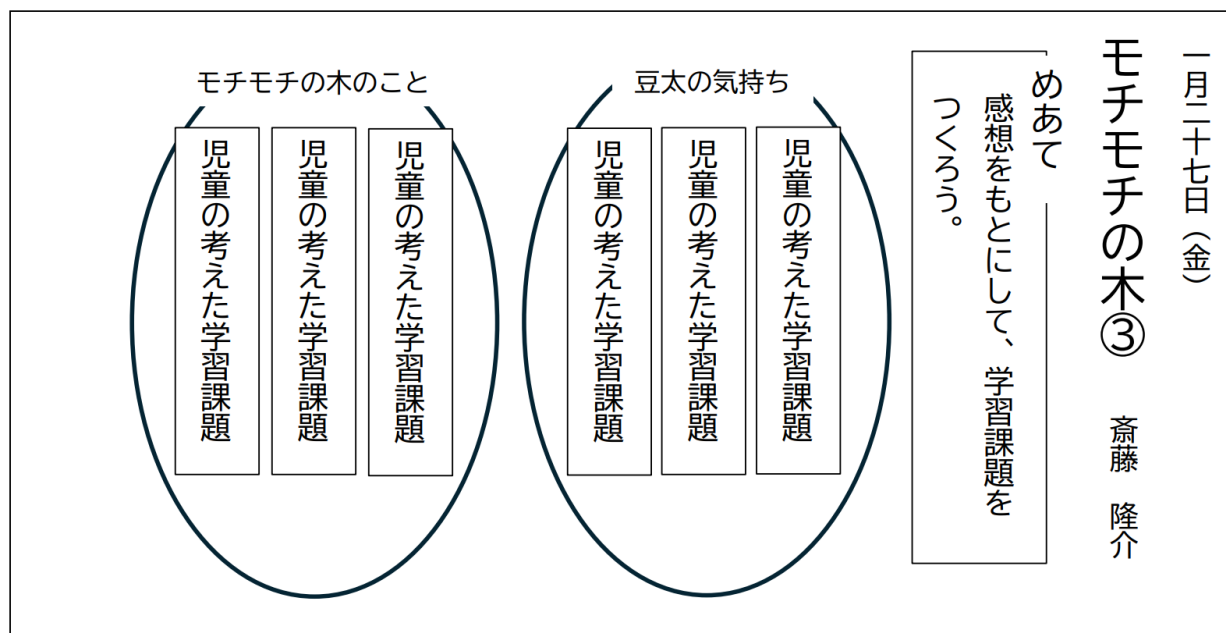
(2) 本時の展開

時間	○児童の活動	◇指導上の留意点	☆評価 ★見いだせる「キャリア教育で育みたい力」
導入 5分	○本時のめあてを確認する。	◇学習課題を考える際の観点を明示する。 ◇前時に感想一覧を読ませ、共通している疑問や言葉に注目させる。	
	感想をもとにして学習課題をつくろう。		
展開 35分	○物語の感想を伝え合い、グループで学習課題を考える。 ○グループで考えた学習課題を全体で共有、整理する。	◇違う感想をもっている児童同士がグループになるように編成する。 ◇学習課題は短冊に書き、黒板に貼るように伝える。 ◇整理する時は、登場人物の様子や情景などの観点で考えさせる。 ◇自分たちで課題を設定できるよう、教師は極力口を出さないようにするが、何もしていない児童がいないように、適宜声掛けをする。	☆課題づくりの観点をもとにして、友達と協力しながら学習課題を考えることができる。 [発言・観察] (思考・判断・表現) ★友達等と関わり、学び合う力 ★将来を見通す力
まとめ 5分	○本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。	◇グループや全体で交流を行うことで気付いたことを中心に振り返りを書くように促す。	

〈授業観察の視点〉

- ・児童が自分の考えをもち、感想を読み合い友達と交流することで、児童同士の主体的な学びが
できているか。
- ・グループで話し合いをすることで、全員が話す機会を確保し、お互いの意見を聞き合うことで、
自分の思いや考えを伝えることができているか。

9 板書計画



10 ワークシート等

P 125	P 124	P 124	P 124	P 124	P 124	P 124	P 123	P 123	P 123	P 123	P 123	P 122	P 122	P 122	ページ
L 4	L 10	L 6	L 6	L 5	L 5	L 2	L 9	L 9	L 7	L 7	L 3	L 5	L 3	L 1	行
くまめら	さいそく	こね上げて	落っこちたが	石うす	木うす	でっかい	きもやす	青じし	きもすけ	ぶっさかれて	とうげ	つつ立つて	せつちん	おくびよう	言葉
		こねあげて	落っこちたが	いしうす	きうす			あおじし				つつたつて			読み方
人や動物を下に見るときにつかう言い方		こねる＋上げて	おいしくてたまらないこと				おどろいてひやりとする	かもしかのこと	ときようのある人のこと			つき＋立つ いきおいよくどうぐと立っている様子	べんじよのこと		意 味

言葉調べ①

名前

言葉調べ②

名前

P 129	P 129	P 128	P 128	P 128	P 128	P 127	P 127	P 126	P 126	P 126	P 125	P 125	P 125	P 125	ページ
L 11	L 1	L 12	L 11	L 9	L 5	L 6	L 3	L 3	L 2	L 1	L 10	L 8	L 7	L 5	行
ばねんねこ	霜	平道	ねまき	表戸	く歯を いしばって	うなり声	よいの口	うしみつ	ともる	霜月	みつともない	こう水	どこ	ねっこけて	言葉
	しも	はんみち		おもてど	はを くいしばって	うなりこえ	よいのくち			しもつき		こうずい			読み方
赤ちゃんをせおうときに赤ちゃんをつつむように着るわた入りのうわぎ		やく二キロメートル			ぐるしみやいたみをこらえて がまんしていること		日がくれてから、まだあまり時間がたたないころ	真夜中のこと。「うしみつ時」ともいう	明かりがつく	十一月の古いよび名			ふとんのこと・ねどこ・ねる場所		意味


言葉調べ③

名前

P	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P 132	P 132	P 132	P 132	P 129	ページ
L	L	L	L	L	L	L	L	L	L	L 6	L 6	L 6	L 1	L 12	行
										くべる	まき	かまど	とちの木	おぶう	言葉
													とちのき		読み方
										物を火の中に入れてもやすこと					意味

モチモチの木 ○

- ① ぎ間に思ったこと、みんなで話し合いたいこと
- ② 作品の持ちよう
- ③ 物語の感想

12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	時
<div style="text-align: center;">  斎藤隆介の作品を読もう・言葉の意味を調べよう </div>												学習内容
○斎藤隆介さんの作品を読んで考えたことを伝え合う。	○自分とくらべて考えたことなどをまとめ、伝え合う。	○読み深めたことを伝え合う。	○学習課題③	○学習課題②	○学習課題①	○場面ごとに登場人物の会話や行動、そのときの様子をたしかめる。		○学習計画を立てる。	○はじめの感想をもとにして、学習課題をつくる。	○学習の見通しをもつ。 ○感想を書く。	めあて	ふり返り

—

3年国語「モチモチの木」
斎藤隆介の作品を、人物の気持ちの変化や情景に注目しながら読もう

1	「かみなりむすめ」	村の子どもたちとあそびたくて親にないしよで下界におりたかみなりむすめだが・・・。	おすすめ度
		○登場人物の気持ちについて ○情景について ○その他	☆☆☆☆☆ 32ページ
2	「三コ」	秋田の平野に三コという大きな男がいた。声は聞こえるが姿を見せない。ある日、オイダラ山が火事になり・・・。	おすすめ度
		○登場人物の気持ちについて ○情景について ○その他	☆☆☆☆☆ 36ページ
3	「ソメコとオニ」	五歳の女の子ソメコはあそびざかり。オニにさらわれても、こわがるどころか一緒にあそぼうというのだ。こまりはてたオニは・・・。	おすすめ度
		○登場人物の気持ちについて ○情景について ○その他	☆☆☆☆☆ 32ページ
4	「猫山」	イワナを釣りに来て山里へ迷いこんだ三平は山の中にぼっと明るいまどを見つけたが・・・。	おすすめ度
		○登場人物の気持ちについて ○情景について ○その他	☆☆☆☆☆ 31ページ

3年組番氏名

5	「八郎」	むかし秋田に八郎という大男がいた。ある日、大波に田畑を流されて泣く百姓を見て・・・。	おすすめ度
		○登場人物の気持ちについて ○情景について ○その他	☆☆☆☆☆ 31ページ
6	「花さき山」	山菜をとりについて、山ンぽに出会ったあや。山ンぽの足元には一面の美しい花が咲いていて・・・。	おすすめ度
		○登場人物の気持ちについて ○情景について ○その他	☆☆☆☆☆ 33ページ
7	「半日村」	一日のうち半日しか陽があたらぬ半日村。その貧しい村に陽をあてようとして、村のうしろにある高い山をけずろうとする少年の一平・・・。	おすすめ度
		○登場人物の気持ちについて ○情景について ○その他	☆☆☆☆☆ 30ページ
8	「ひさの星」	昔、秋田の北にひさという無口な子がいた。ある大雨の夏、幼い子を助けたひさは水にのまれてしまい・・・。	おすすめ度
		○登場人物の気持ちについて ○情景について ○その他	☆☆☆☆☆ 31ページ

3年国語「モチモチの木」
斎藤隆介の作品を、人物の気持ちの変化や情景に注目しながら読もう

9	「火の鳥」	火の鳥がとぶ年はかならずキケン（たべものがとれないこと）になる。十二歳のあさは、火の鳥を退治しに・・・。	おすすめ度
		○登場人物の気持ちについて ○情景について ○その他	☆☆☆☆☆ 30ページ
10	「ひばりの矢」	むかし天にあったひばりの巣。悪い黒雲おやじに子どもをふみ殺されたひばり一郎次は弓矢で・・・。	おすすめ度
		○登場人物の気持ちについて ○情景について ○その他	☆☆☆☆☆ 32ページ
11	「ふぎ」	大男の大太郎と木こりの娘ふぎは大の仲良し。ある時、青鬼にふぎの父親が殺されてしまい・・・。	おすすめ度
		○登場人物の気持ちについて ○情景について ○その他	☆☆☆☆☆ 31ページ
12	「ユとムとヒ」	ユは16、ムは13、ふたりは親友だ。ある日ワカモノ組のカシラを決める試しが行われ、ユがカシラとなったが・・・。	おすすめ度
		○登場人物の気持ちについて ○情景について ○その他	☆☆☆☆☆ 32ページ

3年組番氏名

13		○登場人物の気持ちについて ○情景について ○その他	おすすめ度 ☆☆☆☆☆ ページ
14		○登場人物の気持ちについて ○情景について ○その他	おすすめ度 ☆☆☆☆☆ ページ
15		○登場人物の気持ちについて ○情景について ○その他	おすすめ度 ☆☆☆☆☆ ページ

おすすめの本 NO. 1 !
だいな

その理由

読んだ かつ数	読んだ ページ数